

2020年4月1日

株式会社三菱ケミカルホールディングス 社長 越智 仁 新入社員歓迎メッセージ（要旨）

株式会社三菱ケミカルホールディングス

【当社を取り巻く環境】

世界経済は、保護主義の台頭や新型コロナウイルス感染症問題などのリスクにより、本年末頃までは大変厳しい状況が続くものと予想される。また、地球温暖化、海洋プラスチック問題などは既に深刻な状況にあり、私たちはこうした社会課題を解決するソリューションを提供し、会社だけでなく社会・地球の持続可能な成長に貢献していく必要がある。

一方、昨今の科学技術の進化は目覚ましいものがあり、特にAIは様々な面で人智を超える域に達している。また、IoTによってあらゆる物事がデータで繋がるようになり、バーチャルとリアルの垣根が消失しつつある。リアルの世界を生きる私たちは、どういった強みをもってこの世界を生き抜いていくのか、懸命に考えなければならない。

【KAITEKI 経営の推進】

当社は、資本効率の向上（MOE）に加え、革新的な製品やサービスの創出（MOT）、人類、社会、地球の持続可能性向上に資するソリューションの提供（MOS）の3つの価値の総和を企業価値として、この価値を高める「KAITEKI 経営」を推進している。

MOEの側面では、当社はポートフォリオ改革と成長戦略の着実な実行により収益性を向上させ、安定した事業構造を構築してきた。中期経営計画 APTSYS20 の最終年度である今年度は、着実な努力を積み重ねていくとともに、次期中計に向けた基盤強化と明確な戦略の構築を進めていきたい。

多極化する世界において事業を成長させる上では、MOTの向上が欠かせない。自前技術の強化は大前提だが、積極的に外部との協奏・連携を行い、スピード感をもって市場のニーズに即応することが重要だ。あらゆる業務における基盤として、デジタル技術の習得も必須である。

当社が2011年から取り組んでいるKAITEKI経営の精神は、昨今脚光を浴びるSDGsが掲げる目標とまさに軌を一にする。当社は、2050年のありたい社会像から、2030年における当社のあるべき姿をバックキャストして中期的方向性を示す「KAITEKI Vision 30」を策定した。世界の大きな変化を機会と捉え、どのようにチャレンジし、どのようなソリューションを創出し、持続的成長が図れるのか、皆さん一人ひとりの問題意識やアイデアが重要である。

【新入社員の皆さんへ】

まさにこれから、「2030年に向けた新たな挑戦」が始まろうとしており、若い皆さんの新鮮な発想力、高い活力、そしてチャレンジ精神に大いに期待する。重要なのは次の3点である。

- ①熾烈な競争を勝ち抜くために、すべてのチャンスを活用し「貪欲に学べ」
“Curiosity”
- ②自らの業務役割を深く考え、行動を起こし、責任を持ってやり遂げよ。「仕事のプロになれ」
“Deep Insight”
- ③失敗を恐れず新たなフィールドへ果敢に挑戦し、価値を創造し続けよ。「積極的に行動せよ」
“Active Thinking”

新入社員の皆さんの「ゼロからの積極果敢なチャレンジ」に期待する。

（ご参考：メッセージ配布対象新入社員数 329名）